

令和3年4月14日 受付  
第 号

相互提案型協働事業実施報告書

令和3年 4月14日

(宛先) 座間市長

団体 住 所 座間市緑ヶ丘2-1-30 Neo Ark Bldg. 2-B

名 称 社会福祉法人 足跡の会

代表者氏名 理事長 溝渕信一

市 担 当 課 生活援護課

所 属 長 林 星一



次のとおり報告します。

1 事業名	無縁遺骨を縁のある遺骨に変え適切に埋葬する事業
2 事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	2019年度選考 (2020年度実施)
4 報告期間	2020年4月1日 から 2021年3月31日 まで
5 事業費	327,253 <del>324,100</del> 円 (うち座間市支出分281,936円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>2020年度はコロナ禍の影響で8月までは情勢を鑑み活動自粛をしておりましたが、9月より無縁遺骨の現状を知っていただく為のボランティアによる墓地清掃活動を行えました。ここでは当初の予定していた地域の高齢者ではなく、はたらつく・ざまに協力していただき、通常の就労が行えない方をご紹介いただき、就労支援という形で、ボランティア活動を行っていただき、そこに係る多くの協力者の方にもこの「無縁遺骨問題」をしていただく事ができました。</p> <p>また、担当課と協力して無縁遺骨問題を理解しやすく解説した3つ折りリーフレットを作成し、できる限りの周知を行いました。</p> <p>市内で単身者や生計困難者に係る団体に対して研修会を行い一定の周知を行う事ができましたが、直接市民向けの研修はコロナ禍の影響により中止せざるを得なかったのは悔やまれるところです。</p>
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input checked="" type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ( )

相互提案型協働事業評価シート

事業名	無縁遺骨を縁のある遺骨に変え適切に埋葬する事業
-----	-------------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	コロナ禍により対象者を集めての勉強会は出来ませんでした。それに関わる方にはできる限りで周知は行えたと考えます。	当初、想定した内容については、新型コロナウイルス感染症の影響で、十分にはできなかった。
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	前項目の周知により、地域との連携を行う方（地域包括支援センター・市役所内関係部署・ボランティア協力団体等）に本事業が目的とする内容は周知を行い認知していただけたと考えます。 具体的には、作成した三つ折りリーフレットの内容説明（問題の説明）解決の為の意識向上、など当初の段階より確実にこの問題に対する本事業の必要性を理解していただけたと考えます。	地域情報紙を活用したPRによって、より多くの市民に事業の目的を周知できた。

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	できることは少なくとも、常に連絡を取り合い、必要な情報交換は行えたと考えます。そして情報を生かし新たな問題や必要なアクションを調整し実行する事ができたと考えます。	計画段階から、事業目的や課題に対する共通の認識を持っている。

事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	<p>三つ折りリーフレットの作成において内容の精査など、調整を行えたと考えます。</p> <p>遺骨の埋葬についても、無縁遺骨の発生時において連携が取れたと考えます。</p> <p>コロナ禍でもできる事を考え、調整を行い、最善のスケジュールで実行できたと考えます。</p>	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、適宜、計画の見直しを行った。
対 等 な 関 係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	<p>同じ問題意識のなかで、しっかりと協働できたと考えます。</p>	対等な立場で協議できた。
相 互 理 解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	<p>各々適宜に事業に取り組めたと考えます。</p>	立場、特性を理解し、補える関係が築けている。

### 3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三つ折りリーフレットの作成。</li> <li>・リーフレットを使用した周知活動。</li> <li>・墓地清掃ボランティア関係者に対しての合祀墓地の存在意味とリーフレットを使用した周知活動。</li> <li>・無縁遺骨となった方の埋葬活動。</li> <li>・タウン誌を利用した本事業の周知広告の掲載。</li> </ul>	<p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内、関係機関との調整。</li> </ul>

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	適正なものと考えます。	適正であった。
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	三つ折りリーフレットを使用した周知活動のうち、一般市民への周知がコロナ禍によりほとんど出来なかった。年度末だがタウンニュースに事業の紹介広告を掲載する事ができ、現状の市民の反応を見ることができた。それ以外の役割については、ある程度果たせたと考えます。	新型コロナウイルス感染症の影響で、十分に果たせたとはいえない。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	担当課より様々な団体との繋がりを作っていただきました。その繋がりは単独では成しえない事と考えます。就労支援との出会いにより、新たな問題点にも気づく事になりました。	成果を上げることができた。

#### 4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどの様な形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え)</p> <p>担当課と問題点の急所を捉え、ひとつずつ確実に解決へと導いていく活動を展開していきたいと考えます。その為には、より多くの意見交換を行い、事業を行っていきたいと考えます。</p>	<p>(市の考え)</p> <p>居住支援の事業などと連携し、より生活困窮者支援や市民生活に密接した事業展開が望ましい。</p>